

市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主催：倉吉市体験型教育旅行誘致協議会
とき：平成27年1月22日（木）18：30～
ところ：水車の郷体験工房
テーマ：「教育旅行誘致の今後について」



<体験型教育旅行とは>

農山漁村での体験活動を取り入れた修学旅行。

関金では豊富な地域資源を生かそうと、地元農家や体験施設などで組織する倉吉市体験型教育旅行誘致協議会を設置し、子どもたちの受入を行ってきた。

<主な意見について（抜粋）>

【体験活動全般について】

- ◇日帰り農家体験を受けている。どのような体験をしてもらうか迷うが、縄なえ体験をしたところ大変好評であった。こんなことでも子どもたちは喜んでくれるのかという印象をもった。
- ◇農業収穫体験で20品目作っているが、収穫時期と体験日の調整が難しい。作付け時期をずらしながら対応しているが天候の具合もあり大変。採算性を考えると合わないが、子どもが喜ぶのがうれしい。
- ◇遊YOU村で料理をやり始めて16年が経つ。これまでやってきて地元の良さがわかってきたと思う。自信にもなった。子どもたちは名前で呼んでくれる。外の人との交流が楽しく、生きがいにも感じる。
- 大事なことは長続きさせるとだと思ふ。遊YOU村の女性パワーは本当にすごいと感心している。継続してやってほしいと思う。

【地元小学生の体験について】

- ◇地元の活動や体験については地元の子どもたちも知らないと思う。故郷を知るためにも地元の学校でも体験をやってほしいと思う。
- 教育委員会にも考えてほしい内容。日常生活の体験が子どもたちに響いてくると思う。
- ふるさとを知る学習は始まっているが、遠足等の行事を使って体験をするのもいいかもしれない。現在の子どもは忙しい。教育カリキュラムを考えないといけない。定住を促すためには地元の良さを知ることが必要。小さいうちからの動機づけが必要。

【受け入れの中で困っていること】

- ◇農業収穫体験で20品目作っているが、収穫時期と体験日の調整が難しい。作付時期をずらしながら対応しているが天候の具合もあり大変。採算性を考えると合わないが、子どもが喜ぶのがうれしい。
- ◇地元にする気はあるが、活動していくためには事務局が必要となる。事務局には経費が必要となるため、支援が必要。
- 若女将を関金温泉活性化に配置したように、体験型教育旅行にも地域おこし協力隊を配置する考えもあるのではないかと。どういう支援ができるのか担当課と相談しながら検討したい。地元の子どもも大事だが、外から来てもらうことを目標にしてほしいと思う。地元と外と両面の受け入れがずっと続くように知恵を出していきたい。

等々